

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO. 8 2003 年 10 月 27 日

目 次

学術局から「研修会のお知らせ」	1	臨床奮戦記	5
「研修会の報告」	2	理事会・委員会報告	6・7
社 会 局 か ら	3	求人情報・事務局から	8
施 設 紹 介	4		

学術局から

1. 第3回研修会のお知らせ

第3回研修会のお知らせ

学術局では、平成15年度第3回研修会を次のように計画しています。

* 日 時：平成15年11月30日(日)

13時～16時

* 会場：君津中央病院

* 今回は成人分野の症例検討です。

【症例検討会】13:00～15:00

【情報交換会】15:15～16:00(会員・会友のみ)

* 詳しくは別紙をご参照ください

* 参加費 会員・会友無料、その他500円、

* 申し込み及び問合せ先：

〒290-0512 市原市鶴舞575 千葉県循環器病
センター リハ科 神作暁美

TEL：0436(88)3111、FAX：0436(88)3032

(電話でのお問合せは17時以降にお願いします。)

貸し出し期間：1ヶ月

氏名を書き、切手(ビデオ1本270円分、2本390円分)を貼って送ってください。

あて先：〒272-0004 市川市原木1862

千葉県立市川養護学校小学部 野島 洋子

貸し出しビデオ：

「STがおこなう高次脳機能障害の臨床」

講師 鈴木 勉先生 東京都立墨東病院

「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」

講師 長澤 泰子先生 日本橋学館大学

「脳卒中の摂食・嚥下障害-臨床の実際-」

講師 矢守麻奈先生 都立駒込病院

「重複障害児のAAC-日常生活とST訓練を結ぶ」

講師 知念洋美先生 千葉リハビリテーションセンター

「記憶障害の臨床像と対処法-症例を通して-」

講師 安田清先生 千葉労災病院

「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援-通院及び通所(デイケア)リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り-」

講師 横張琴子先生 松戸神経内科

「コミュニケーションの発達と支援-前言語期から言語獲得に向けて-」

講師 長崎勤先生 筑波大学

2. 研修会ビデオの貸し出し

これまでにを行った研修会ビデオの貸し出しを行っています。下記の要領でお申し込みください。

方法：返信用封筒(B5またはA4サイズ)に住所、

* 貸し出しについての注意

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

3. 研修会資料の送付

今年度より、希望者に研修会資料の配布を行います。返信用封筒（A4 サイズ）に住所、氏名を書き、切手（200 円分）を貼って送ってください。あて先はビデオ貸し出しと同様です。

対象資料：前記のビデオ「 」「 」です。

4. 平成 15 年度第 2 回研修会報告

平成 15 年 9 月 28 日（日）千葉大学附属病院第 3 講堂において、今年度の第 2 回研修会を開催しました。



今回は小児領域の講演であり、テーマは「コミュニケーションの発達と支援 - 前言語期から言語獲得に向けて -」、講師は筑波大学助教授 長崎勤先生をお招きしました。参加者は 40 名でした。（うち会員・会友 25 名、会員外 6 名、学生 9 名）当日行ったアンケートの結果を一部ご紹介します。

アンケート結果「感想」より

- ・人間のコミュニケーションの成立を詳細に分かりやすく解説していただき、大変勉強になりました。

- ・前言語期の伝達行為を育てていくことの大切さ

がよくわかりました。CAP についてもう少しお話を聞きたかったのが、文献を是非読んでみたいと思います。「心の理解」についても大変興味深かったです。ゲームを通しての指導など、苦手な部分を取りあげての指導の例がありましたが、指導（訓練場面）でできたことは、生活の中でどの位般化されていくのかなと思いました。

- ・言語（発語）以前の段階を考えた上で、コミュニケーションの大切さを改めて痛感しました。自閉傾向の多いお子さんと接していく上で母子を含め、今後の関わり方について考えさせられました。「コミュニケーション」と一言でいってもあらゆる側面から考えいろいろな段階があることが理解でき、改めて難しさも感じました。

- ・基本的なところから、詳細なレジュメ、具体例を含めてお話いただき、とてもわかりやすかった。臨床上の注意点なども挙げていただき、今後留意して行っていこうと再認できました。ありがとうございました。

- ・0～1 歳のおこす行動が要求伝達系、相互伝達系と 2 つのモジュールによってコミュニケーションをとるということを説明していただき、よくわかりました。フォーマット ルーティン スクリプトと子どもが行動をおぼえていくという順序も図でわかりやすく説明されてよかったです。

<学術局より>

アンケートへのご協力ありがとうございました。「伝達行為の発達について分かりやすい内容でした。」とのご意見を多数いただきました。今回の研修を皆様の臨床にお役立ていただければと思います。講師の先生やご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。今後も、会員・会友の皆様の研修会への多くの参加とご意見をお待ちしております。

社会局から

1. 本言語聴覚士協会における

都道府県士会協議会参画について

第 3 回総会において承認されました日本言語聴覚士協会（以下 R S T 協会）における都道府県士会協議会への参画について、R S T 協会から正式に承認を受けました。11 月 24 日には地域組織代表者会議が開催され、村西会長が出席する予定になっております。今後はこの会議において、県士会からの意見・要望などを伝えていきたいと考えております。

2. 実態調査委員会について

- アンケートご協力をお願い -

前年度に引き続き、実態調査委員会の設置が決定されました。第 1 回委員会は平成 15 年 9 月 7 日(日)、第 2 回は 10 月 19 日(日)に高洲コミュニティセンターにて開催され、今年度の調査についての協議がなされました。

委員長：宇野園子（我孫子市身体障害者福祉センター）

委員：新井千絵（船橋市立医療センター）

木村智江（昭和大学形成外科言語室）

宮本清美（谷津保健病院）

古森一美（袖ヶ浦福祉センター）

藤倉万弓（やすらぎの郷）

担当理事：常田千佳、竹中啓介

アンケートご協力をお願い

実態調査委員会では、医療保険、介護保険改正における問題点などを把握し、今後の千葉県士会の指針を探るためアンケート調査を今年中に予定しております。皆様のご協力をお願いいたします。

3. 情報公開について

県士会では、千葉県地域リハビリテーション協議会より言語聴覚士に関しての情報をホームページにて公開したいとの依頼を受け、県内の言語

訓練担当者を対象にアンケートを実施いたしました。会員の皆様には、ご多忙の折、本調査にご協力いただきありがとうございました。

最終的な調査票の送付数は 344 通、回答者数は 125 通、回収率は 36.3%でした。現在、集計作業を行うとともに、希望のあった施設に関してはホームページでの情報公開の準備をすすめております。現在も、情報公開に関して随時希望を募っております。ご希望の際には社会局までご連絡ください。

4. 新生児聴覚スクリーニング検討委員会

現在、県において新生児聴覚検査事業専門部会の設置が決定され、第 1 回目の協議会を今年度中に開催すべく準備がすすめられております。それに伴い、県士会においても新生児聴覚スクリーニング検討委員会を設置すべく準備をしております。目的は県内での状況を把握し、県の新生児聴覚検査事業の体制整備に対し、県士会として意見や要望を提出し、より良い体制となるように働きかけを行うことと考えております。

5. ホームページについて

URL <http://users.hoops.ne.jp/crst2002/>

会員専用ページパスワード

affordance（半角英数で入力）

〔お詫び〕ホームページの更新が遅れております。皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、現在、懸命に作業をしておりますので、今しばらくお待ち下さい

〔お願い〕勉強会などの情報などがありましたらぜひお知らせください。

6. 新部員

社会局広報部部員として櫻井正人氏（千葉大学大学院）が承認されました。

施 設 紹 介

印西市南部保健センター

S T 渡辺裕貴

私が所属している南部保健センター（健康管理課）は、複合施設である保健福祉センター内にあり、他に老人福祉センター、心身障害児通園施設（たんぽぽ園）在宅介護支援センターが入っています。南部保健センターには保健師が 3 名、理学療法士が 1 名、言語聴覚士が 1 名在籍しています。

S T の主な業務のひとつは、「ことばと発達の相談室」での個別指導で、就学前の乳幼児を対象にことばや聴こえ、発達に関する相談及び指導を行っています。（運動発達に関しては理学療法士が担当しています。）今年度は常勤 1 名と非常勤 3 名（週 4 日）で担当しており、年間指導実数は 60 名前後です。来年度以降は学童期のお子さんも対象にする予定でいます。また月に 2 回は心理相談員と共に発達相談を行っており、発達の状況を確認し今後の方針を保護者へ助言したり、発達の経過をみています。

その他、保健センターの業務として三歳児健診でのことばの相談や健診の事後フォローの場である親子教室も担当しており、保健師や保育士と共に子どもの発達のフォロー、母親指導も行っています。また同じ建物内にあるたんぽぽ園とは密に連携を図り、週 1 回、担当のお子さんの集団の様子を見て、スタッフへの指導、摂食指導なども行っています。摂食指導は、通園前のお子さんについては離乳児期から訪問などで、指導を行っています。

保健センター部門ということで、保健師や理学療法士、また同じ施設内にいる保育士とも連携を取りながら業務を行っています。

所在地：〒270-1342 印西市高花 2-1-5

TEL:0476-47-2111 FAX:0476-47-2655

成田病院

総合リハビリテーションセンター

S T 清水直美

元々は藤立病院という名称でしたが、平成 15 年 7 月に同系列の成田病院と合併し、病床数約 700 床の病院になりました。

リハスタッフは P T 9 名、O T 7 名（精神科 O T 含む）S T 2 名、助手 6 名で日々訓練を行っています。P T・O T は総合リハビリテーション施設基準、S T は施設基準を取得していますが、合併したことで患者数が増加し、今後は S T の増員及び基準の取得も検討しております。

対象は主に成人の方で、失語症、構音障害、嚥下障害、高次脳機能障害（言語障害に合併している場合）です。他、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性即索硬化症などの方の訓練も行っております。

現在個人訓練が中心ですが、軽度の失語症の患者さん対象にグループ訓練を行っています。今後は構音障害や重度失語症のグループ訓練等も行っていきたいと考えております。まだまだ未熟者の 2 人ですが、力を合わせて日々奮闘しています。

所在地：〒286-0845 成田市押畑 896

TEL:0476-22-2551 FAX:0476-22-2300



臨床奮戦記

指導に来なくなったケイタ君

(続編)

(前号の要約)

ケイタ君は 3 歳で、言語、対人性の遅れのあるお子さんでした。また、家でテレビやビデオがつけっぱなしで、しかもあまりがいしゅつしないということでした。

初回面接で、母親と S T が「テレビやビデオの視聴時間の長さの問題」を話題にした時、ケイタ君はその話を聞いて「ビデオやテレビがもう見られなくなる。」と思ったらしく。帰りの車の中で大泣きをしたそうです。そのため、母親から、また泣いてしまうので指導に連れて行くことは難しいという連絡があり、指導が中断しました。

前号で問題提起した「テレビやビデオの視聴」について考えてみましょう。

[S T S 子の私見]

私はある程度の制限は必要だと考えています。しかし、まったく見せないようにする必要はなく、子どもが好きな番組や興味を持ちそうな番組は見せてもいいと思っています。重要なのは、長時間の視聴ということに対して保護者に問題意識をもってもらうこと。そして、次に「どのような番組を見せるのか」「どのくらいの時間みせるのか」という一定のきまりを作り、実行していくことだと思います。それをどのように進めるかについては、保護者と相談しながら実行可能なところを見つけ、具体的に示していくことが大切だと考えています。

テレビやビデオから子どもを遠ざける方法 テレビ、ビデオ以外の遊びの楽しさを体験させる

- ・外出の機会を多くする。(公園、散歩、児童館、育児サークル、保育所の園庭開放など)
- ・子どもの好きそうな遊びをいろいろやって見せたり、遊びに誘う。

テレビやビデオを選択的に利用する方法

- ・幼児番組などを一緒に見て、大人が楽しそうに歌ったり体操などをして子どもに見せたり、子どもと一緒にやる。

[内田伸子氏「言語発達とその支援」から抜粋]

岩佐(1976)は3歳児健診時にことばの遅い子どもや自閉的で対人関係がうまくいかない子どもが長時間テレビづけになっていることを見いだしている。テレビ視聴は自閉的傾向の出現やことばの遅滞と直接的な因果関係があるとは思えないが、長時間一方的に流される電子音の中に放っておかれることにより、人の声への感受性が減少し、母親とことばでのやりとりの機会が奪われ、母との間に緊密な心理的な絆を形成できず、社会性の発達が遅れるのであろう。

次号では「成人臨床」の事例を掲載します。皆さんからの投稿をお待ちしています。

過去の失敗体験、うまくいった例、事例を通しての感動など自由に語ってください。

原稿送付先：事務局または FAX：020-4622-0721 E-mail: takenaka@iris.dti.ne.jp

A4 で 1 枚以内 問い合わせ：柴田 TEL04-7120-8088 E-mail: shiba3442@yahoo.co.jp

平成 15 年度 理事会の報告

第 9 回

日時：2003 年 7 月 15 日（火） 20：00～23：30

場所：千葉大学医学部附属病院 第 3 会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、常田、野島、野原、
村西(以上理事 8 名) 田中、古川（書記 2 名）

（事務局より）

- ・都道府県士会協議会加入手続き等について
 - ・千葉県言語聴覚士会ニュース No. 7 について
 - ・研修会・懇親会の会計報告について
 - ・平成 15 年度一般会計中間報告について
 - ・新入会員について
- （学術局より）
- ・平成 15 年度研修会アンケート結果について
 - ・平成 15 年度第 2 回研修会について
 - ・平成 15 年度第 3・4 回研修会（症例検討会）について

（社会局より）

- ・情報公開に関するアンケートについて
- ・県庁訪問について
- ・新生児聴覚スクリーニング 検査について

第 10 回

日時：2003 年 8 月 8 日（金） 20：20～23：30

場所：千葉大学医学部附属病院 第 3 会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、常田、野原
村西(以上理事 7 名) 田中、古川（書記 2 名）

（事務局より）

- ・日本言語聴覚士協会都道府県士登録申込書について
 - ・新入会員について
 - ・千葉県言語聴覚士会ニュース 8 について
- （学術局より）
- ・研修会の会場について
- （社会局より）
- ・新生児聴覚スクリーニング 事業に関するアンケートについて
 - ・地域リハビリテーション協議会への参入に関するアンケートについて
 - ・社会局員について

第 11 回

日時：2003 年 8 月 28 日（木） 20：00～22：15

場所：千葉大学医学部附属病院 第 3 会議室

出席者：神作、竹中、常田、野島、村西（以上理事 5 名）
古川（書記 1 名）

（会長より）

- ・他県士会ニュースについて
- （事務局より）
- ・都道府県士会協議会加入手続き等について
 - ・県士会ニュース 8 について
- （学術局より）
- ・第 2 回研修会について
- （社会局より）

- ・新生児聴覚スクリーニング 事業および地域リハビリテーション協議会への参入に関するアンケートについて
- ・千葉県士会における新生児聴覚スクリーニング 委員会の委員について
- ・言語聴覚士の情報公開のためのアンケート結果について
- ・千葉県士会のパンフレットについて
- ・保険医療改定に伴う実態調査について

第 12 回

日時：2003 年 9 月 10 日（水） 20：00～23：10

場所：千葉大学医学部附属病院 第 3 会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、常田、野島、野原
村西(以上理事 8 名) 田中、古川（書記 2 名）

（会長より）

- ・千葉県の障害者施策に対する提案・意見聴収の依頼について
 - ・国立身体障害者リハビリテーションセンターにおける言語聴覚士研修会について
- （事務局より）
- ・千葉県言語聴覚士会ニュース 8 について
- （学術局より）
- ・平成 15 年度第 2 回研修会について
 - ・日本言語聴覚士協会都道府県士会について
 - ・千葉県の障害者施策に対する提案・意見聴収の依頼について
 - ・メールマガジンの発行について

(社会局より)

- ・新生児聴覚スクリーニング事業に関するアンケートについて
- ・地域リハビリテーション協議会への参入に関するアンケートについて
- ・新生児聴覚スクリーニング委員会について
- ・千葉県の新生児聴覚検査事業専門部会について
- ・保険診療改定にともなう実態調査について
- ・ホームページについて

第13回

日時：2003年10月2日(木) 20:15~23:20

場所：千葉大学医学部附属病院 第3会議室

出席者：勝又、神作、竹中、常田、野島、野原、
村西(以上理事7名) 田中、古川(書記2名)

(会長より)

- ・埼玉県言語聴覚士会の設立について

(事務局より)

- ・研修会と懇親会の会計報告について

(学術局より)

- ・平成15年度第2回・第3回研修会について
- ・学術局ネットワーク名簿の更新について
- ・地域の勉強会の設立について
- ・講師派遣についての礼状について

(社会局より)

- ・千葉県の新生児聴覚検査専門部会について
- ・千葉県士会の新生児聴覚スクリーニング検討委員会について
- ・千葉県における乳幼児聴力検査の実態調査について

(実態調査委員会より)

- ・平成15年度第1回実態調査委員会会議について

(実態調査委員会より)

- ・保健診療改定に伴う実態調査について

第14回

日時：2003年10月17日(金) 20:00~22:00

場所：千葉大学医学部附属病院 第3会議室

出席者：勝又、神作、柴田、常田、野島、野原、
村西(以上理事7名) 田中、古川(書記2名)

(会長より)

- ・日本言語聴覚士協会都道府県士会協議会参画について
- ・関連諸団体からのニュース送付について

(事務局より)

- ・千葉県言語聴覚士会ニュース No.8 について

- ・新入会員の承認について

(学術局より)

- ・地域・分野別勉強会について
- ・平成15年度第3回研修会について

(社会局より)

- ・新生児聴覚スクリーニング精査機関交流会について
 - ・千葉県士会の新生児聴覚スクリーニング検討委員会について
 - ・県内の言語聴覚療法の情報公開に関するアンケートについて
- (実態調査委員会より)
- ・保健診療改定に伴う実態調査について

学術局会議の報告

第1回

日時：2003年8月31日(日) 13:30~17:00

場所：千葉市療育センター

出席者：神作、野島(理事2名) 高橋(局員1名)

- ・地域別、分野別の勉強会の立ち上げについて
- ・研修会会場について
- ・学術局ネットワーク名簿の更新について
- ・学術局員の増員について

第2回

日時：2003年9月20日(土) 14:00~17:00

場所：高洲コミュニティセンター

出席者：神作、常田(理事2名) 酒井、高橋(局員2名)

- ・地域別、分野別の勉強会の立ち上げについて
- ・研修会会場について
- ・学術局ネットワーク名簿の更新について
- ・新生児聴覚スクリーニング勉強会の立ち上げについて

実態調査委員会の報告

第1回

日時：2003年9月7日(日) 13:30~17:00

場所：高洲コミュニケーションセンター

出席者：新井、宇野、勝又、古森、常田、宮本

- ・アンケートの素案とRST協会の実態調査のアンケートについて
- ・送付先のリストについて
- ・調査目的・対象・期間・内容について
- ・役割分担について

(紙面の都合上、報告と協議事項をまとめて記載してあります。)

求人情報

1. 施設名：東明会 下総病院
 2. 所在地：船橋市滝台町 94-22
 3. 対 象：成人（嚥下障害、dysarthria, 失語症 等）
 4. 募 集：常勤 1 名（経験、新卒問わない）
 5. 採用時期：来年より
- お問い合わせ：047-464-8111
リハビリ科 ST 市川まで

事務局から

1. メールマガジンについて

メールマガジンを随時発行しています。本ニュースを補完するものや、求人情報など速報性の高い内容のものが中心となっています。会員のみなさんのご意見やご希望をお待ちしています。

「千葉県言語聴覚士会メールマガジン」

配信登録・停止 URL)

<http://www.egroups.co.jp/group/CRST-MG>

問い合わせ：CRST-MG-owner@egroups.co.jp

事 務 局

〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010

君津中央病院 リハビリテーション科 言語療法室

TEL : (0438) 36-1071 FAX : (0438) 36-3867

ホームページ（新アドレス）

<http://users.hoops.ne.jp/crst2002/>

会員専用パスワード：affordance

2. 新入会員（敬称略）

正会員（24 名）

本宮 敏司 筑波大学附属聾学校
古川 大輔 君津中央病院
和田 幸子 市川市リハビリテーション病院
吉田 絵美 実幸会いらはら診療所
野口 綾奈 千葉県千葉リハビリテーションセンター
松下悠紀子 松戸神経内科
三好 茜 社団ますお会第二北総病院
近藤 真弓 亀田総合病院
小宮山則彦 亀田総合病院
二ノ形 恵 亀田総合病院
小此木 茜 亀田総合病院
大足田鶴子 旭神経内科病院
小芝 圭 ナーシングプラザ流山
吉田 千恵 行徳総合病院
石井 麻紀 公明会塩田病院
鈴木 勉 東京都立大塚病院
三木 直子 ユー・アイ久楽部
加藤 彰洋 初富保健病院
三原芳絵 社団三松会介護保健施設大穴さくら苑
森山 晴之 帝京平成大学
山田 麗子 帝京平成大学
小寺 富子 帝京平成大学
五十部祥子 成田市ことばの相談室
荻洲えりも （株）日本補聴器センター

会 友（2 名）

原 修一 臨床福祉専門学校

溝手文子

会員数：正会員 174 人 会友 14 人

編集後記

秋も深まり、我が家の近くの街路樹はところどころ黄色くなってきました。また、江戸川の向こうに沈む夕日がひときわ赤くなるこの頃ですが、皆さんはどのような秋をお楽しみでしょうか。何かに感動する気持ちを忘れず、日々の臨床のなかでもそれを生かし、分かち合っていけたらいいなあ～と私は思うのですが。

